

地域行事 今年「平年作」のお告げ
雪中稲刈り・作占い

小正月行事「雪中田植え」の稲刈りが、2月1日に大太鼓の館前で行われ、JA秋田たかのす青年部により今年の稲作の豊凶が占われました。

この日は、大太鼓の館前に特設された雪田に、1月15日の雪中田植えで植えられた稲をJA秋田たかのす青年部の岩谷政崇部長が、農業関係者などが見守る中、稲の束を一束ごと慎重に刈り取っていきました。青年部OBの畠山喜久雄さんにより見立てが行われ、畠山さんは「春の種まきからしっかり管理すればそれなりに収穫できるはず」と占いました。



地域行事 あで姿で商店街をお披露目行進
市内各神社で厄払い祈願

恒例の厄払い行事が、2月1日に市内各地区の神社で行われ、この一年の厄年を無事に乗り切ることができるよう、宮司からお祓いを受け、神前に玉串を捧げ、今後の無事安泰を祈願しました。

お祓いを済ませた女性たちは、中心商店街のにぎわい創出に一役買おうと、丸鬘に黒留袖姿のままで鷹巣駅前を目抜き通りをお披露目行進しました。

あでやかな和装姿を見ようとたくさんの市民がアーケードに詰めかけ温かい拍手を送ると、女性たちも笑顔で応えていました。



体験事業 雪道運転や雪かきを体験
冬の暮らし体験ツアー

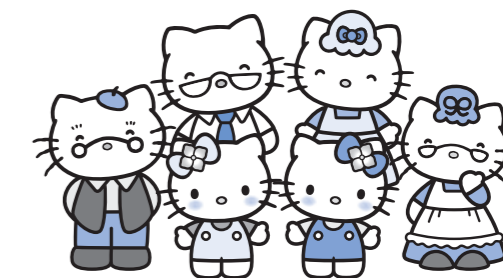
北秋田市への移住・定住を検討している方を対象にした「冬の暮らし体験ツアー」が、2月9日から11日に市内各所で行われ、首都圏からの参加者が雪道運転や雪かきなどを体験しました。

この事業は、雪や冬の暮らしの不安に対し、体験を通じて少しでも和らげてもらい、移住・定住の動機付けを図ることを目的に実施しています。

県北自動車学校での雪道運転体験やだまこ鍋の郷土料理作り、雪かき、スキー、樹氷観賞などを行い、参加者は冬の北秋田を大いに体感しました。



市内のいろいろな出来事を紹介します



消防訓練 火災から地域の宝を守る
文化財防火デー火災想定訓練

平成31年文化財防火デーに伴う火災想定訓練が、1月26日に鷹巣神社（田島秀彦宮司）で行われ、地域住民や消防団員などが参加して地域の文化財を守るための消防訓練に取り組みました。

このうちパケツリレーによる初期消火訓練を行った上横町町内会と宮前町町内会の会員は、水を汲む人、水を送る人、火元に水をかける人など役割分担し、本番さながらの訓練を展開しました。また、消防団員や消防署員は、むだのない連携で消防訓練に取り組み、有事に備えて行動や対処を確認し合いました。



合格祈願 粘り強く「点」を伸ばして
「点が伸びる合格祈願バター餅」贈呈式

高校受験を間近に控えた1月18日に市内の中学3年生226人に、日本バター餅協会（村井松悦会長）から点が伸びる合格祈願バター餅が贈られました。

合格祈願バター餅は、バター餅のように受験生一人一人の点数が伸びるようにとの願いを込め、平成24年から受験生に贈呈しています。

このうち、鷹巣中学校（遠藤元博校長）で行われた贈呈式では、村井会長から生徒代表の藤嶋悠人さんにバター餅が手渡されました。藤嶋さんは「ありがとうございます。頑張ります」と力強く述べました。



地域行事 昔ながらの遊びを満喫
遊び体験イベント「白い風と遊ぼう2019」

あそび体験活動ボランティア「この指と〜まれ」（豊村聡代表）の自主企画イベント「白い風と遊ぼう」が、2月2日に市民ふれあいプラザで開かれ、子どもたちが昔ながらの遊びや雪像作りを楽しみました。

この日は、昔話と紙芝居の披露やけん玉やこま、輪投げなど昔の遊び体験、木工遊び、縄ない体験などが用意され、子どもたちはスタッフから遊び方や作り方を教えてもらいながら楽しんでいました。

また、米代児童公園では雪像作りが行われ、スプレーで色づけて鮮やかな作品を作製していました。



地域行事 餅や北秋田の味を求めにぎわう
第25回もちっこ市

第25回もちっこ市が、2月9日と10日に大太鼓の館駐車場で開かれ、昔ながらの手作り餅や地元の特産品などを買い求める大勢の人でにぎわいました。

会場内で行われた、おしるこの無料サービスには配布前から長蛇の列ができ、温かいあんに甘くて柔らかい餅をおいしそうに頬張っていました。また、特設テント内には約20店が出店し、北あきたバター餅、おやき、まめ餅などの手づくりの餅や地元の特産品がズラリと並べられ、大勢の人がお目当ての商品を探しながら買い物を楽しみました。

